

食品ロスの削減・フードバンク活動を推進しています!!

東北農政局では、東北地方における食に関する幅広い関係者の連携を推進することにより、食品産業（食品製造業、外食産業、食品関連流通業）で発生する食品ロスの削減及びフードバンク活動の推進を目的とした東北地方食品ロス削減等情報連絡会を、令和6年5月17日設立しました。

参加者の声

この度、東北農政局において開催された第1回東北地方食品ロス削減等情報連絡会に、参加させていただきました。参加された100を超える関連団体のみなさんには、食品ロスとなってしまう前にフードバンクに渡って、どう活用されるかなど、「認定NPO法人もやい」の大西連理事長の講演を聞かれて、深く理解いただけた意義深いものであったと思います。

食品ロスと生活困窮という社会課題を同時に解決できるフードバンクを、これからも東北のフードバンクで繋がって、活動していきたいと思いました。



フードバンクあきた 林 代表

東北地方食品ロス削減等情報連絡会会員一覧 (秋田県内14会員/東北102会員)

株式会社栄田フーズ（食品製造業者）
イオン東北株式会社（食品小売業者）
株式会社マルダイ（食品小売業者）
全国農業協同組合連合会秋田県本部（農林漁業者（団体含む））
秋田県農業協同組合中央会（農林漁業者（団体含む））
特定非営利活動法人秋田たすけあいネットあゆむ（フードバンク団体）
一般社団法人フードバンクあきた（フードバンク団体）
秋田ノーザンハピネッツ株式会社（子ども食堂）
特定非営利活動法人あきた子どもネット（子ども食堂）
株式会社稲庭うどん小川（食品製造業者）
社会福祉法人秋田県社会福祉協議会（社会福祉協議会）
秋田県生活環境部温暖化対策課
秋田県農林水産部農業経済課
秋田県健康福祉部地域・家庭福祉課

日本の食品ロスの状況

日本の食品ロスの状況(令和4年度推計値)

日本の「食品ロス量」

約472万トン



事業系

約236万トン



家庭系

約236万トン



国民1人当たり食品ロス量

1日 約103g

※おにぎり1個のご飯の量(約110g)に近い量

年間 約38kg



資料：総務省人口推計(2022年10月1日)

食品ロス量の推移(平成24～令和4年度)

農林水産省HPより

令和4年度食品ロス量は472万トン、うち事業系は236万トン。

2030年度事業系食品ロス量
削減目標
273万トン



名前：ロスのん
食品ロスをなくす(non)という意味から命名

食品ロス・食品リサイクル・フードバンク関連に興味のある方は、東北農政局ホームページの下記をご覧ください。

食品ロス・食品リサイクル・フードバンクについて：東北農政局HP (maff.go.jp)

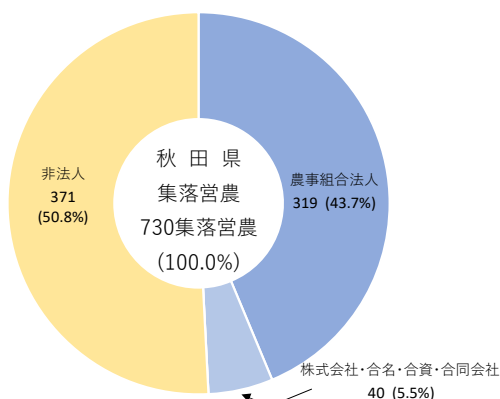


令和6年集落営農実態調査（秋田県）

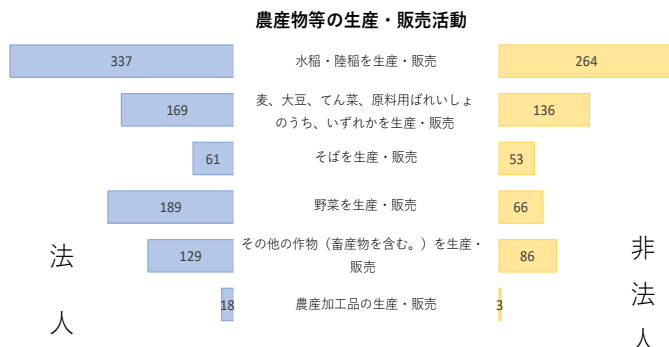
～ 集落営農に占める法人の割合は49.2%、前年に比べ1.8ポイント上昇 ～

秋田県の集落営農数は730となり、前年（737）に比べ7（0.9%）減少した。
このうち、法人の集落営農数は359であり、前年（349）に比べ10（2.9%）増加した。
この結果、集落営農に占める法人の割合は49.2%となり、前年に比べ1.8ポイント上昇した。

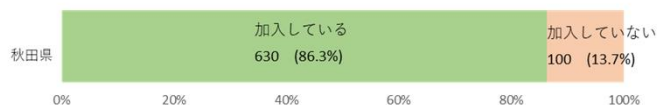
組織形態別集落営農数



活動内容別集落営農数（複数回答）



経営所得安定対策への加入状況別集落営農数



資料：農林水産省統計部「令和6年集落営農実態調査」

本調査における「集落営農」とは、集落を単位として農業生産過程における一部又は全部についての共同化・統一化に関する合意の下に実施される営農をいう。

お知らせ

調査員が田畑へ出向き実測調査を行っています。

農林水産省では、農業の生産基盤である耕地と農作物の作付け及び生産に関する実態を明らかにするため作物統計調査を実施しています。

調査は、東北農政局が委嘱した「専門調査員、統計調査員」がビブス（写真）着用、身分証明書を携帯し、調査対象となった田、畑の現況確認、農作物の作付状況や作柄の把握を行うため11月まで実測調査を行っています。

調査中は、近くの皆様にできるだけお声がけするとともに、調査へのお問合せにも対応いたします。

なお、御不明な点等ありましたら御連絡ください。



東北農政局秋田県拠点
統計担当 高橋、神成
TEL：018-895-7303

お問合せ先

東北農政局秋田県拠点地方参事官室

〒010-0951 秋田市山王七丁目1-5 TEL:018-862-5611（代表）

Webページ:<https://www.maff.go.jp/tohoku/tiiki/akita/index.html>

農林水産省

